

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [ふるさと納税活用事業]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	企画		課		企画担当		係	課長名	荒井 亮二
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 1	
【施策名】 適正な財政運営							総合計画書 (ページ)	119	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 当市にゆかりのある方、当市を応援したい方など			→			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ふるさと納税に係る一般寄附の件数		
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ふるさと納税サイトを活用し、寄附者の利便性向上と市の認知度向上に努めるとともに、市内事業者の魅力ある商品を返礼品として当該サイトに掲載することで、市の魅力向上及び寄附の歳入増を図る。			→			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 一般寄附による歳入額(変電所寄附を除く。)		
	③ そのために何をしましたか。 産業振興課や商工会、JAなどと情報共有を図るとともに、市報で返礼品協力事業者を募集し、魅力的な商品等を提供する市内事業者を返礼品協力事業者として開拓するよう努めた。 また、返礼品の充実を図るため、新規の返礼品協力事業者に限らず、既存の返礼品協力事業者においても、返礼品の見直しや新たな返礼品の追加などの取組に努めた。			→			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①新規返礼品協力事業者数 ②新規返礼品取扱数		
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	件	141	222	300			
	成果指標	②の数値	円	8,172,000.0	18,340,000.0	23,985,300.0			
目標	②の目標値	円	前年度実績		前年度実績				
目標値設定の考え方 事業者からの提案に加え、寄附件数及び寄附金額が増加するような取組を検討する。									
活動指標	③の数値	①社 ②品	①2 ②12	①5 ②16	①1 ②15				
3 経費	事業費(実績)		円	2,159,490	5,202,131	7,486,193	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	2,159,490	5,202,131	7,486,193			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)		円	2,473,200	2,493,000	2,514,000				
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	4,632,690	7,695,131	10,000,193				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成28 年度						
	(2) 環境の変化		他自治体における寄附者への返礼品の拡充等により、ふるさと納税市場は成長傾向にあり、今後もその傾向は続くことが見込まれる。 総務省通達により、返礼品の調達等に関する基準が示されたことから、寄附金額の設定や返礼品のラインナップを基準に合致したものにすることが求められている。						

事業名称	企画業務費 [ふるさと納税活用事業]			
担当部署・課長名	企画課	課	企画担当	係 課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	なし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：③		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市内事業者である返礼品協力事業者は、他の市内事業者と様々なネットワークを持っているため、そのつながりを活用して返礼品協力事業者の拡充を図ることができる。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 歳入額の増加を図るため、新規返礼品協力事業者の開拓に加え、既存の返礼品の見直しや新たな返礼品の追加を行う。			
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
	施策名： 適正な財政運営			
	<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 既存の返礼品協力事業者に対して、返礼品の見直しを依頼するとともに、新規の返礼品協力事業者の開拓を行っていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	産業振興課等、他課との連携			